

對峙シテキル。シカモ斯ル爭議ハ全國的ニマサニ爆發狀態ナノガド
 レドシ増加シカケテキル。政府、農會ノ「朗ラカナ自力更生、農村
 救済」ノ掛聲ヲ裏切ツテ、皇子ヲ滿洲ニ引張ラレタ留守ニ老父ノ
 土地ガ沒義道ニモ地主ノ暴力トブルチヨア法律デドレドシ奪ハレタ
 ノヤ奪ハレヤウトシタノガ青森、宮城、秋田、高知、徳島等ニアル
 大地主ニヨル大規模ナ土地取還訴訟ガ京都大阪ヲ始メ多クノ地方デ
 起リカケテキル。ヤガテ次ニハ不當ナ立入禁止ガ來、農民カラメレ
 フ奪ハウトスルデアラウ。又中小地主ガ借金ノ抵當ニ入ツタ土地ヲ
 早ク金ニシタイタメ土地返還ヲ迫ル。此際、彼等ハ自作スルトノ名
 目デ調停ニカケル場合ガアル。コノ名目ニヨル場合大抵判事ハ簡單
 ニソレヲ認メルノダ。コノ際ハ名目ト事實ノ相違ヲ指摘スルナリ執
 拗ナヘタリ込メ等デ付テ片付ケルコトダ。尙小作料欲シサノ脅シ
 カラ契約解除、土地返還ガアルガコンナノハ早ク片付ケレバ問題ハ
 ナイ。

三、斯ル土地取上ト如何ニ闘フカ
 イ、内容證明等ノ文書ニヨル契約解除ニハ必ズ聯合會、地區ノ指導
 ニ「土地ハ返サナイ」ト云フ文書ニヨル打消ヲスルコト、口頭ニ
 ハ口頭ヲ以テ、斷ジテ土地ヲ返スト云ハシテハナラヌ。同時ニ土
 地ヲ墾ヒ耕シ肥シテ來タ勞苦、推肥ノヤリ方等ハ少クトモ永小作
 ノツモリ、或ハソレ以上ノツモリテ土地ヲ耕作シテキルコト、ソ
 ノ耕作ノ權利、地上ニ於ケル占有ノ權利ノアルコトヲ組合員ハ毎
 論農民ニ自覺セシメナケレバ土地ヲ死守スル度胸ヲ揚ヘル理論的
 根據ガ確リレナイデアラウ。
 ロ、農民組合ヲ海レテ附近ノ未組織ヤ小作人組合ニ使ニ小作證書ヲ
 入レサシタリ、農民組合ノ眞似ヲスル村組合員カラ土地ヲ取上ヤ
 ウトスル地主ガ多イカラヨク注意シテ、ヒラ。傳單ヤ演說會ヲ必
 ズ普及カラアデリ、農民相談所等ヲ設ケテ相談エノリ、免領ヲ見
 指導セヨト修リエハ農民組合ノ手ヲ煩スノダカラ。病氣ガ手オク